

令和7年度 第1回 西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会要点記録

■日 時：令和7年5月20日（火）18時30分～

■会 場：オンライン（Zoom）

○令和7年度 西東京市社会福祉協議会 事務局体制について

1. 委嘱状交付

- (1) 委嘱状交付（事前送付）
- (2) 委員紹介（資料1）

2. 報告事項

- (1) 業務報告（令和7年3月・4月）について（資料2、3、4）
- (2) 業務予定（令和7年5月・6月）について（資料5）
- (3) 令和6年度事業報告、決算報告（資料6、7）
- (4) 令和7年度事業計画・事業予算・年間予定について（資料8、9、10）

○事務局より、(1)～(4)について資料を用い説明を行った。

【委員長】質問はあるか。

【副委員長】視覚障がい者の同行援護が見つからないというのは登録者がいないということか。

【事務局】数人はいるが日程の都合がつかなかったということである。

【副委員長】依頼に応えられないのは残念な事である。ボランティアの募集など市内でおこなっているのか。

【事務局】登録ボランティアがいない場合はつてを頼り紹介してもらったり、多数のボランティア募集の際はホームページのボランティア募集に載せている。

【副委員長】公民館にもサークルがたくさんある。声をかければ活動してくれるのではないかと考える。

【委員長】麻雀の相手の声掛け中とあるが、コーディネートに積算する時間は今後計算されてくるということか。

【事務局】資料作成後に活動者が決まり紹介ができた。麻雀や将棋の相手のボランティアは登録者が少なく紹介できるまでに時間がかかってしまう。

【委員長】新規の委員で質問はないか。

【委員】ボランティア保険のプランの違いについて聞きたい。

【事務局】基本コース、天災コースとそれぞれA～Cプランがある。天災コースはボランティア活動中の地震、噴火、津波によるケガも補償される。安心して活動してもらうため加入を勧めている。他に行事保険も取り扱っている。

3. 審議事項

- (1) 令和6年度第4回運営委員会要点記録（未定稿）について（資料11）

4. 協議事項

(1) 「夏!体験ボランティア西東京 2025」について(資料12)

【委員長】ボランティアの受け入れが難しいと返答があった施設などは夏休みの職員体制によるものかそれ以外に着目する傾向があるのか教えて欲しい。

【事務局】例えば施設の建て替え工事中であったり、ボランティアが高齢になり猛暑の中での活動を控えているなど様々な理由がある。

【委員長】開催時期が夏ではなかったり、建物が完成した後であれば受け入れてもらえる可能性があるということか。

【事務局】そのように考える。

【委員長】今回オンラインを利用して受け入れ団体に回答してもらったようだが、昨年までの紙ベースのものに慣れていると思うが回収状況はどうか。今後オンラインでの回答に移行していける手ごたえはあったのか。

【事務局】まだ紙ベースでの回答が多い。今回初めて受け入れをしてくれる団体は、送付資料もメールで受け取りたいと申し出があった。少しずつオンラインに移行出来ていければ良いと考える。

(2) 「ボランティアセンターとしてできること」について(資料13)

【事務局】学校との関わりについて夏の体験ボランティアの結果を基につながりを作っていけたら良いのではないかと話し合われてきた。今年度の1~2月におこなわれる校長会でボランティアセンターができることを提案出来たら良いという意見が出た。学校へアンケートを実施しニーズを把握し提示できるものを作成していけると良い。

【委員長】昨年度よりボランティアセンターの役割り、強み、学校との連携について話し合われてきた。意見をもらいたい。

【委員】ボランティアにお願いしたい活動内容とあるが、児童養護施設から家庭に戻り地域で暮らすことになった子どもが、朝が弱く民生委員に登校支援をお願いすることがある。ショートステイもおこなっているが母子保健、ボランティア、児童福祉などそれぞれの枠組があり、すみ分けが難しい。

【事務局】枠組みを調整することは現状ではおこなっていない。学校からの依頼内容で個別のケースではボランティアの範囲なのか否かは必ずある。今回のニーズ調査の選択肢の中で考えていきたい。

【委員長】今回のテーマが学校との連携ということで、学校側から助言をいただきたい。

【委員】前任校であと少し後押しがあれば登校できる児童がいた。ボランティアさんに関係づくりしてもらい登校につながるとありがたいと思った。また、アンケートの方法についてだが、学校も紙ベースからオンラインに変えてきている。意見を書き込めるフォームにすると具体的で率直な意見を書いてもらえるので有効な活用方法ではないか。

【委員】小学校から運動会のパトロールを住民懇談会と防犯協会の両方面にお願いされた。今PTAが低下してPTAに参加する保護者が減っている。運動会や登下校のパトロールにボランティアを募り協力することは効果がある。進めていくと良い。

【委員長】小学生がボランティアの支援を受ける側ではなく、花を作り施設に渡すなど子どもたちも自分たちのできることで地域とつながることができるのではないかと意見があった。様々な交流の中で活躍の場が生まれるのではないか。

【委員】まちなか先生として5年生対象に防災の話をしながらか災害に興味を持ってもらうことを目指し授業をおこなった。熊本地震の際、避難所で自身も被災者である若い人たちが、避難してきた人に対し様々なボランティアをしている映像を見て、小学生でも何ができるのかと意見を出して

もらった。自分より幼い子供の世話ができるとか、困っている人に対して自分がどのような気持ちになるかということを知ってもらうことが大切であると感じた。

【委員】業態が違ってもあり学校との関わりについて考えたことが無く、学校関係者の話を聞いて学ぶことが多かった。

【委員長】学校は学校の中で、地域は地域の中で取り組みがなされ、お互い何を頼んでよいのか分からないまま過ごしてきた。融合してお互いを知り、できることや新しいことを生み出せると良い。

【委員】ボランティアにお願いしたい活動内容では学校内が多いと思うが、子どもごとで学校側が地域とのどのような課題を持っているのかが気になる。地域との連携で課題解決が出来たら良い。

【委員長】それぞれの立ち位置で潜在的なニーズがアンケートを通して可視化され共有していくと、できることできないことが見えてくるのではないかと。学校にアンケートを依頼する際、配慮すべきことはあるのか委員に聞きたい。

【委員】特にないが、ふるさと探究学習など各学校ともに地域との結びつきを求めている。但し、学校により温度差がある。このような窓口があることを教職員に浸透させることにより需要があるのではないかと。

【事務局】アンケートを依頼した際、回答は誰が担当するのか教えて欲しい。

【委員】調査物については副校長がこたえられるものについては副校長が回答する。また、総合学習の担当がいる場合はどちらかが回答するのではないかと。

【委員】各学校にコミュニティスクールのコーディネーターが配置され、コーディネーターのところには教職員からの様々な要望がきている。コーディネーターをお願いするのも良いのではないかと。

【事務局】いただいた意見を基にアンケートを作成していきたい。

5. その他

(1) 令和7年度運営委員会開催日程(案)(資料14)

次回運営委員会の日程

■日時:令和7年7月8日(火)18時30分～

■会場:オンライン(Zoom)

配布資料

- | | |
|------|--|
| 資料 1 | : 運営委員名簿 |
| 資料 2 | : 西東京ボランティア・市民活動センター事業月次報告(令和7年3～4月) |
| 資料 3 | : コーディネート状況等月次報告(令和7年3月) |
| 資料 4 | : ボランティアコーディネート実績表(令和7年3月) |
| 資料 5 | : 西東京ボランティア・市民活動センター業務予定(令和7年5～6月) |
| 資料 6 | : 西東京ボランティア・市民活動センター 令和6年度事業報告(案) |
| 資料 7 | : 西東京ボランティア・市民活動センター 令和6年度決算報告(案) |
| 資料 8 | : 西東京ボランティア・市民活動センター 令和7年度事業計画 |
| 資料 9 | : 令和7年度ボランティア・市民活動推進事業 事業予算 |
| 資料10 | : 西東京ボランティア・市民活動センター令和7年度年間スケジュール |
| 資料11 | : 令和6年度第4回西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会要点記録(未定稿) |
| 資料12 | : 「夏!体験ボランティア西東京2025」について |
| 資料13 | : 「ボランティアセンターとしてできること」について |
| 資料14 | : 令和7年度西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会開催日程 |